

# 製品安全データシート

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 OSウロコ落としクリーナー 標準  
会社名 オンサイト株式会社  
本社住所 埼玉県春日部市大畑 155-2  
電話番号 048-812-7100 FAX 048-812-7123

## 2 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

火薬類 分類対象外

可燃性・引火性ガス 分類できない

支燃性・酸化性ガス 分類できない

引火性液体 分類対象外

自己反応性化学品 分類対象外

自然発火性固体 分類対象外

水反応可燃性化学品 分類対象外

酸化性固体 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

可燃性・引火性エアゾール 分類対象外

高圧ガス 分類できない

可燃性固体 分類対象外

自然発火性液体 分類対象外

自己発熱性化学品 分類対象外

酸化性液体 分類対象外

有機過酸化物 分類対象外

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口） 分類できない

急性毒性（吸入：ガス） 区分4

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1

皮膚感受性 分類できない

発がん性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分2（気道、肺）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分2（骨、歯）

吸引力呼吸器有害性 分類対象外

急性毒性（経皮） 分類できない

急性毒性（吸入：蒸気） 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 区分1A

呼吸器感受性 区分1

生殖細胞変異原性 分類できない

生殖毒性 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分2

オゾン層へ有害性 分類できない

水生環境慢性有害性 分類できない

ラベル要素 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語 危険

#### 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

吸入するとアレルギー、ぜんそく又は呼吸困難を起こすおそれ

呼吸器系の障害のおそれ

飲み込むと有毒

水生生物に有害

吸入すると有害

金属腐食のおそれ

長期又は反復ばく露による臓器（骨、歯）の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
 粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用すること

【救急措置】

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。  
 目に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。また、直ちに医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。  
 暴露又は気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 気分が悪いときは、医師に連絡すること  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当をうけること  
 呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること  
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。

保管

施錠して保管すること

廃棄

内容物や容器を(国/都道府県/市町村の規則にしたがった)廃棄すること

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名(又は一般名)

水・塩酸・防錆剤・安定剤・防錆剤・酸性フッ化アンモニウム

成分及び含有量

清水	77~82%	(CAS No.7732-18-5)	
塩酸	9%未満	(CAS No.7647-01-0)	化審法・安衛法 1-215
防錆剤	5%未満	非公開	
安定剤	5%未満	非公開	
酸性フッ化アンモニウム	4%未満	(CAS No.1341-49-7)	化審法・安衛法 1-311 と 1-306 の復塩

4.応急処置

吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水で石鹼を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。  
 眼に入った場合: 直ちにコンタクトレンズをはずし、少なくとも 15 分以上大量の水で眼を洗いきれいな指で眼の裏をめくって洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。  
 飲み込んだ場合: 口をすすいだ後、吐かせないこと。直ちに医師の手当を受ける

5. 火災時の措置

消火剤: 水噴霧  
 火災時の特有危険有害性: 本品は不燃性であるが、加熱されると有毒な塩化水素ガスを発生する。  
 特有の消火方法: 火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。  
 消火を行う者の保護: 高温により有害なガス(塩化水素)が発生するので、呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。刺激性が強いので、周辺の住民に漏洩が生じたことを通報する等の適切な処置を行う。
回収、中和：	適切な保護具を付けて処理すること。土砂などに吸着させて取り除くか、又はある程度水で徐々に希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：	火気厳禁とし、金属類との接触をさける。
注意事項：	使用後は容器を密封する。 漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
安全取扱注意事項：	吸い込み、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では局所排気装置を使用する。

### 保管

安全な保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
技術的対策：	通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
混触禁止物質：	酸性なので、アルカリ性の製品とは同一場所に貯蔵しないこと
安全な容器包装材料：	ガラス容器で保管しない

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	局所排気装置を使用する。
管理濃度：	設定されていない
保護具	
呼吸器用の保護具：	マスク(酸性ガス用)または送気マスク
手の保護具：	耐酸性手袋
眼の保護具：	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	無色
臭い：	刺激臭
pH：	強酸性
引火点：	不燃性
溶媒に対する溶解性：	水に容易

## 10. 安定性及び反応性

安定性：	安定。加熱により塩化水素ガスが発生する。
危険有害反応可能性：	強酸で、塩基と反応する。腐蝕性が強く各種の金属を侵し、水素ガスを発生し、これが空気と混合すると引火発火の危険がある。また、コンクリートを侵す。強酸化剤で塩素ガスを発生する。
避けるべき条件：	日光、熱、アルカリ、酸化剤
混触危険物質：	アルカリ性物質
危険有害な分解生成物：	塩素、塩化水素、水素

## 11. 有害性情報

- 急性毒性(経口)分類できない
- 急性毒性(経皮)分類できない
- 急性毒性(吸入:ガス)区分4
- 急性毒性(吸入:蒸気)分類できない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない  
皮膚腐食性・刺激性 区分1A  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1  
呼吸器感作性 区分1  
皮膚感作性 分類できない  
生殖細胞変異原性 分類できない  
発がん性 分類できない  
生殖毒性 分類できない  
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分2(気道、肺)  
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分2(骨、歯)  
吸引性呼吸器有害性 分類対象外

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) 区分2  
危険有害性情報: 水生生物に毒性  
水生環境有害性(長期間) 分類できない  
残留性/分解性: データなし  
生態蓄積性: データなし  
土壌中の移動性: データなし

## 13. 廃棄上の注意

中和法 徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させ、多量の水で希釈して処理する。  
汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号 : 塩酸 1789、フッ化アンモニウム 1727

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)

容器等級 : PG III

注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に  
おこなう。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法施行令: (塩酸)第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物 98号  
(フッ化アンモニウム)第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物 487号

消防法: 非該当

毒物及び劇物取締法: 非該当

船舶安全法 (危規則): 腐食性物質

航空法: 腐食性物質

海洋汚染防止法: 施行令別表第1 有害液体物質 Z類物質

化学物質管理促進法(PRTR法): (フッ化アンモニウム)政令第1条 第一種指定化学物質 374号

ここに記載された危険性・有害性の情報は、当社の最善の調査・評価に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できない事もあり、取り扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用説明書に従い、使用者の責任において行なって下さい。以上